

令和7年度 第3回 理事会議事録

日時：令和7年7月9日（水） 19:00～21:00

場所：社会医療法人敬愛会 中頭病院 2階中頭ホール

[出席者]

理事：末吉恒一郎、金城良和、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、當間智史、比嘉俊文、高安信吾、安村大拙、武富新太郎、下里真司、宮里由乃

監事：千知岩伸匡

第26回沖縄県理学療法学会大会実行委員：島袋公史、島袋みちる

欠席：立津統、玉城すみれ（第2号議案より参加）平良雄司、南部路治

書記：上地誠之

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件
- ・第2号議案 名称後援の承認に関する件
- ・第3号議案 第4回沖縄県臨床工学会への後援依頼に関する件
- ・第4号議案 JIMTEF 災害医療研修会「第20回災害医療研修アドバンスコース関西開催」への派遣推薦者に関する件
- ・第5号議案 令和7年度那覇市地域ふれあいデイサービス事業体力測定等に関する監修および職員派遣に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 14名（第1号議案：12名、第2号議案～第4号議案：14名、第5号議案：12名）

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事に代わり理事金城良和が議長となって、本理事会は集合とWeb会議システムを併用して開催する旨宣言した。

議長金城良和は、参加理事末吉恒一郎、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、宮里由乃、比嘉俊文、當間智史、武富新太郎、下里真司、安村大拙、高安信吾、監事千知岩伸匡に対し、本理事会に出席する旨を説明し、Web会議システムにより、出席者の映像と音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

尚、【第5号議案：令和7年度那覇市地域ふれあいデイサービス事業体力測定等に関する監修および職員派遣に関する件】については、下里真司理事、仲宗根美紀理事が利害関係者となっていることから、審議には参加していない。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 地域局

※月次活動報告

5. 社会職能局

※月次活動報告

6. 教育学術局

※月次活動報告
7. 各種委員会
※月次活動報告

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 7 年 7 月 8 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1、1-1】
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】期間：令和 7 年 5 月 14 日～7 月 8 日 計 26 件（承認：26 件、否認：0 件、保留：0 件）</p> <p>【会員動向】令和 7 年 6 月 30 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none">・在会会員数：1470 名（施設所属会員数：1364 名、自宅会員数：106 名）・休会会員数：484 名・会員所属施設数：370 施設（休会会員施設含む） <p>【期間会員動向】令和 7 年 5 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日 ※当協会入力状況から検索 異動：12 名（県内：10 名 転入：1 名 転出：1 名）（うち再申請：0 名 否認：0 名） 休会：8 名 ※休会継続含む 退会：1 名 復会：1 名</p> <p>【期間会員動向】令和 7 年 6 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日 ※当協会入力状況から検索 異動：18 名（県内：18 名 転入：0 名 転出：0 名）（うち再申請：0 名 否認：0 名） 休会：8 名 ※休会継続含む 退会：5 名 復会：2 名</p>
審議内容	<p>1 入会の承認について</p> <p>【質疑応答】</p> <p><末吉会長>昨年度の同時期と比較すると入会数が少ないとの事だが、何か考えられる要因はあるのか。</p> <p><久高事務局長>去年と違うのは新人異動会員オリエンテーションが 2 週間程開催が遅れたということ。</p> <p><上地理事>昨年度よりも手元に届く書類（葉書等）は早くなっている印象はあるが、今年度の入会者数の出足が遅れている要因は把握できていない。</p> <p><當間理事>各学院に入会説明会を行っていると思うが、各養成校ごとの入会数を出していただきたい。理事会資料だけではイメージが付きにくいので、データを出していただけると有難い。</p>

	<p><久高事務局長>以前は、理事会で入会状況を紙ベースで回覧していたこともある。まずは、理事のみで回覧していくことも必要。その後、支部連絡会議などで回覧する形であれば情報流出などの心配も無いと思う。</p> <p><當間理事>前理事や各施設の役職者が異動や休会退会になった際の情報も共有できると良いかと思う。</p> <p><仲宗根理事>入会促進する際に、自発的よりも手解きする方がいるとスムーズに入会に繋がるのではないか。</p> <p><末吉会長>求人を出してもなかなか来ない時代になりつつあるので、人材確保のために、積極的に実習を受け入れる。実習を受け入れるためには、臨床実習指導者講習会を受講する。講習会を受講するためには、入会する必要がある、といった入会するメリットを明確に打ち出して、施設管理者にはしっかりと情報共有していくことが必要。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決 可：12名 否：0名</p>	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第2号議案 三好春樹後援会の名称後援の承認に関する件

提出日：令和7年7月8日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	名称後援の承認に関する件 【資料ファイル 2、2-1】
議案内容及び提出理由	<p>全国各地でご活躍中の三好春樹先生を招聘し、県内のリハビリテーション関係者および介護関係者を対象とした研修会を下記の通り開催する運びとなった。つきましては、本研修会が県内専門職の知識と技術の向上に大きく資するものであると考える。</p> <p>【研修会名】 三好春樹氏研修会（2日間連続セミナー）</p> <p>1日目：「三好春樹の虐待防止—拘束廃止研修」</p> <p>2日目：「人間学的認知症ケアを始めよう！」</p> <p>【日時】 令和7年10月18日（土）13:00～16:30 令和7年10月19日（日）10:30～15:30</p> <p>【会場】 沖縄商工会議所（沖縄県沖縄市中央4-15-20）</p> <p>【受講費】 1日目4,000円、2日目6,000円</p> <p>【主催】 なるほどケア塾（株式会社円窓社内）</p> <p>http://ensosha.com/</p> <p>【後援（予定）】 医療法人アガペ会</p>

【県内窓口】 医療法人アガペ会 リハビリ部 泰真実

審議内容

1 名称後援の承認について

「可」の理由として

日本理学療法士協会の後援名義申請許可基準を踏まえて判断した。

対象となる事業の種類は次の①～④とし、要件ア～カを全て満たす事業とする。

① 学術大会、講演会、セミナー、イベント、シンポジウム

② 理学療法士の教育・研修に関連するイベント

③ 公益性の高い活動や啓発活動

④ その他、本会が適切とみとめる事業

《要件》

ア 理学療法ならびにリハビリテーションの発展と普及等に積極的に寄与すること

イ 開催するための計画・予算が作成されており、かつ、事業の運営方法が公正であること

ウ 原則として、日本国内で行われるものであり、かつ、その規模が全国的又はこれに準じた広域性を有するものであり、一部特定地域に限られたものではないこと

エ 主催者が事業を開催するための事務組織を有すること

オ 営利を主たる目的としていないこと

カ 後援名義の使用を許可すべきでない特段の事情がないこと

また、日本理学療法士協会総務課に、上記要件のカに該当する事項として、「申請団体の代表者が理学療法士であるが、非会員の場合、許可すべきでない特段の事業に該当するか」確認した。

回答としましては「後援名義は個人に対するものではなく、あくまで団体に対するものであります。従いまして、当該団体が対象事業であり、且つ要件を満たすかによって判断しています。」とのこと。

「否」の理由として

・一定の公益性はあると考えますが、営利性のバランス、公平性や中立性の観点から総合的に判断いたしました。

●公益性について

➡三好春樹先生の講演は高齢者ケアにおいて広く知られており、公益性はあると考えられる。

●営利性とのバランス

	<p>➡主催は、「株式会社」という営利法人であり、公益社団法人が名称を貸すと、特定企業に肩入れしているように見えるのではないかと考え、その結果として協会の公益性や公平性が損なわれるリスクがある。</p> <p>●今後の影響</p> <p>➡今回、仮に後援を認めた場合、他の企業・団体からも同様の依頼が来ることも考えられ、その後の審査に一貫性が持てなくなり、不公平な対応となりトラブルが起こる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民や会員に特定の団体を支援するという疑念が抱かれる可能性を示唆しており、判断フローも整備されていない中で、他の団体から次回依頼された際の対応についても不安材料が残っているため。 ・講義の内容自体は、県内のニーズと合致しており、県民への公益性が認められる点では意義のあるものであると考えられる。 <p>ただ、「後援」は講師や主催者を公的に保証する意味合いを持つ行為であり、現時点では協会を脱退された講師による営利企業の事業に対して、公益社団法人として公式な支援を行うことは、協会規定との整合性において難しいと判断した。</p>	
審議結果	<p>反対多数で否決 可：7名 否：8名</p>	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考	<p>営利団体や非会員などの後援について、「公益性を損なわずに、会員や県民の利益となる活動を後援できる体制」を今後整備していく必要性を感じた。</p> <p>【代替案のご提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会名を使用しない後援形式 <p>➡広報物等への協会名称の掲載は行わず、実質的支援（案内配信・会場紹介等）を行う形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報提供支援」形式 <p>➡協会のメール配信やWeb掲示板にて「会員へのご案内」としての掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有志理学療法士としての紹介 <p>➡協会ではなく、個人の理学療法士が紹介者として関与する形での対応</p>	

第3号議案 第4回沖縄県臨床工学会への後援依頼に関する件

提出日：令和7年7月18日	提出者：末吉 聖子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	第4回沖縄県臨床工学会への後援依頼に関する件【資料ファイル3】

<p>議案内容及び提出理由</p>	<p>一般社団法人 沖縄県臨床工学技士会より学会開催にあたり、名称後援依頼となっている。</p> <p>沖縄県臨床工学技士会は、第 25 回沖縄県理学療法学会大会をはじめ、今年度の第 26 回学会大会においても後援団体として構成されている。</p> <p>つきましては、後援可否についてご審議の程よろしくお願い致します。</p> <p>大会名：第 4 回沖縄県臨床工学会 テーマ：CE の軸を広げて組織強化を 大会長：矢島 真知子（琉球大学病院） 日時：令和 7 年 11 月 9 日（日） 会場：シャボン玉せっけん くくる糸満 https://okinawa-ces.medikiki-hpl.com/seminars?id=1051</p>			
<p>審議内容</p>	<p>名称後援の可否について</p> <p><高安理事>当協会の学会大会において、沖縄県臨床工学技士会が継続的に後援団体として協力している実績がある。また、今回の学会も医療職能者を対象とした公益性の高い内容であり、理学療法士との専門職連携を促進する意義があること。主催団体が「一般社団法人」として、適正な法人格と運営体制が確認されていること。</p> <p><安村理事>医療職関連団体であり、臨床現場でも日頃から深く関与している。第 25 回沖縄県理学療法学会大会から、名称後援をいただいております。また公益性に問題がない。</p> <p><下里理事>当協会の学会大会において、後援団体としての実績があることや適正な法人団体（一般社団法人）であること。</p>			
<p>審議結果</p>	<p>全員一致で可決 可：14 名 否：0 名</p> <table border="1" data-bbox="384 1451 1442 1529"> <tr> <td data-bbox="384 1451 683 1529">担当局：</td> <td data-bbox="687 1451 1442 1529">担当部：</td> </tr> </table>		担当局：	担当部：
担当局：	担当部：			
<p>備考</p>				

第 4 号議案 JIMTEF 災害医療研修会「第 20 回災害医療研修アドバンスコース関西開催」への派遣推薦者に関する件

提出日：令和 7 年 7 月 18 日	提出者：宮里 武志、事務局
担当局：減災プロジェクト委員会	担当部：

議案主題	JIMTEF 災害医療研修会「第 20 回災害医療研修アドバンスコース関西開催」への派遣推薦者に関する件【資料ファイル 4、4-1、4-2】	
議案内容及び提出理由	<p>公益社団法人日本理学療法士協会(以下、JPTA)より「公益財団法人国際医療技術財団(以下、JIMTEF)『第 20 回 JIMTEF 災害医療研修』への案内」に関し、各士会より受講推薦者 1 名の推薦案内となっている。</p> <p>JPTA からの推薦依頼に対し、減災プロジェクト委員会より人選された委員を派遣先 JIMTEF が主催するベーシックコース及びアドバンスコースとし、沖縄県理学療法士協会会員の災害対応に関する知識・技術の向上と将来構想としての県内災害医療研修会開催企画に向けた人材育成を目的とする。</p> <p>つきましては、減災プロジェクト委員会「久手堅智江 委員」の推薦をご承認いただきたい。</p> <p>補足) 第 17 回 JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースの受講済 (日時：2024 年 7 月 16 日～8 月 16 日 オンライン受講)</p> <p><第 20 回 JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース 関西開催> 日時：2025 年 11 月 22 日(土)・11 月 23 日(日) 場所：独立行政法人 国際協力機構 関西センター (JICA 関西) (神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 JR「灘」徒歩 12 分、 阪神「岩屋」徒歩 10 分) 参加受講費：20,000 円 (JPTA 負担)</p>	
審議内容	推薦者の可否について	
審議結果	<p>全員一致で可決 可：14 名 否：0 名</p>	
	担当局：	担当部：
備考	・ JPTA への提出締切：令和 7 年 8 月 1 日(金) 必着	

第 5 号議案 令和 7 年度那覇市地域ふれあいデイサービス事業体力測定等に関する監修および職員派遣に関する件

提出日：令和 7 年 7 月 23 日	提出者：勢理客直子
担当局：事務局	担当部：事務局

議案主題	那覇市社会福祉協議会_令和7年度那覇市地域ふれあいデイサービス事業体力測定等に関する監修および職員派遣について（依頼）に関する件	
議案内容及び提出理由	<p>那覇市社協様より、当協会へ体力測定等に関する監修、および助言・支援の為の職員派遣依頼文書が、7月22日に届いた。（7/17付け那社協第305号）</p> <p>那覇市より平成15年度からの委託事業で、本事業の充実の為の依頼となる。高齢者の皆様の健康維持・増進を図るため、評価指標となる体力測定等の内容について専門的な監修および助言・支援を頂きたいとの事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣依頼職員名：仲宗根美紀氏・下里真司氏 ・期間：令和7年8月～令和8年3月 年10回程予定（月1～2回程） ・謝礼：1回あたりお一人6,000円（2時間） <p>定款第4条（1）理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業に該当と思われるため、監修、及び派遣の可否についてご審議をお願いする。</p>	
審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 評価指標となる体力測定等に関する監修の可否について ② 専門的な立場から助言・支援の為の職員派遣の可否について（派遣依頼名：仲宗根美紀氏） ③ 専門的な立場から助言・支援の為の職員派遣の可否について（派遣依頼名：下里真司氏） 	
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ① 評価指標となる体力測定等に関する監修の可否について 全員一致で可決 可：12名 否：0名 ② 専門的な立場から助言・支援の為の職員派遣の可否について（派遣依頼名：仲宗根美紀氏） 全員一致で可決 可：12名 否：0名 ③ 専門的な立場から助言・支援の為の職員派遣の可否について（派遣依頼名：下里真司氏） 全員一致で可決 可：12名 否：0名 	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考	期日は設定されていないが、期間が令和7年8月からとなっており、第3回理事会追加議案として提出。	

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会
会長 末吉 恒一郎

監事 千知岩 伸匡
監事 南部 路治